

環境に配慮した食に関する研究

～「環境食絵日記」によるカーボンオフセットの取組～

1 実践事例について

共通教科「家庭」の科目である「家庭基礎」において、「環境食絵日記」への取組を通して、環境への関心を深めるとともに、日常的に環境に配慮した食生活を営もうとする態度の育成を図る。

「家庭基礎」の目標の一つに、「持続可能な社会の構築を目指して健康や環境に配慮しながら自立して生活する能力の育成」がある。本実践では、食と環境のつながりに関する理解を深めることを目的とした。

なお、ここでの「環境食絵日記」とは、「食と環境について自分で考えたことや家庭で話し合ったこと、環境に配慮した食に関する取組などを絵と文章で自由に表現した絵日記」とする。

2 学習活動の概要について

(1) 単元名

ライフスタイルと環境

(2) 単元の学習目標

ア 消費生活と環境との関わりについて理解を深める。

イ 環境負荷の少ない生活の取組を実践できるようにする。

(3) 評価規準

〈関心・意欲・態度〉 持続可能な社会や身近な環境問題に関心をもち、意欲をもって実践に取り組んでいる。

〈思考・判断・表現〉 地球温暖化など環境問題に配慮した製品やサービスの選択、使用方法や生活について課題を見だし、その解決を目指して環境負荷の少ない生活を工夫し、思考を深め、表現している。

〈技能〉 環境に配慮した材料の購入・調理・片付け・保存などの技術を身に付けている。

〈知識・理解〉 便利で快適な生活が、環境問題や資源・エネルギー問題に関連していることを理解し、環境負荷を低減させる実践方法を理解している。

(4) 単元の工夫

ア 「環境食絵日記」を用いて、家族全体で環境について話し合いを行ったり、クラスメイトの発表を聞き、優秀な取組に投票したりすることで、他の取組のよい点を見だし、自らの生活に取り入れて実践できるようにする。

イ カーボンオフセットについての理解を深めるために、他教科（商業科）と連動した授業を展開する。

(5) 学習活動

ア 題材の指導計画（全4時間）

学習項目（時）	学習活動（時）	指導上の留意点
カーボンオフセットとは（2）	カーボンオフセットについて （2） （別添資料1） （別添資料2）	<ul style="list-style-type: none"> 事前アンケートを実施し、環境への関心の有無を認識させる。 身近な環境問題やその原因を考えさせ、発表させる。
クラス発表（2）	環境食絵日記の取組方法について （0.5） （別添資料3） 【環境食絵日記製作】*課題 環境食絵日記の取組の発表 （1） （別添資料4） まとめ（0.5） （別添資料1）	<ul style="list-style-type: none"> カーボンオフセットについて学習し、環境食絵日記の取組への意欲を高めさせる。 各家庭で取り組み、まとめさせる。 各グループで、各自の取組を発表し合い、さまざまな環境配慮型食生活について関心をもたせると同時に、相互評価させる。 各班から選出した代表者一名の発表を聞き、優秀な取組に投票をさせる。 事後アンケートを実施し、自分自身の意識や関心の変化に気付かせ、消費生活と環境との関わりについて考えさせる。

イ 題材の学習

(ア) 学習目標

- ① 環境に配慮した食生活を意識し、自ら実践できるようにする。
- ② 環境食絵日記を実施し、一人100gのカーボンオフセットを行う。
- ③ 実践内容を発表し、さまざまな取組に関心をもたせるとともに、相互評価させる。

(イ) 題材の展開

- ① 事前アンケート実施後、身近な環境問題を挙げ、その原因や温室効果ガス削減のための手だてを考え、発表する。手だてを黒板に書き出すことで、相互理解を図る（**写真1**、**写真2**）。



写真1 グループディスカッション

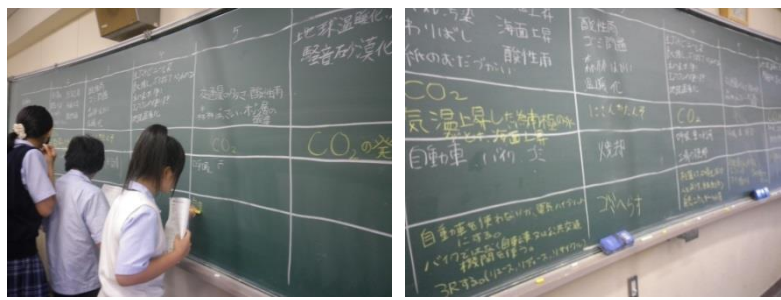


写真2 グループの意見の集約

- ② カーボンオフセットについて学び、環境食絵日記に取り組む（写真3）。 *課題



写真3 環境食絵日記の生徒作品

- ③ 環境食絵日記を各班で発表し合い、その後全体で代表生徒の発表を聞き、最も優れていると思う取組に投票する（写真4、写真5、写真6、写真7）。



写真4 グループでの発表の様子



写真5 優秀者の発表の様子



写真6 投票の様子



写真7 全クラスの廊下に掲示

- ④ 環境食絵日記一枚に対し、100gのカーボンオフセットする取組を行う。
- (f) 言語活動を取り入れた学習活動
- ① 身近な環境問題についての討論、カーボンオフセットの学習
グループごとに意見交換をさせ、それらをまとめて発表させる。
 - ② 環境食絵日記の取組
環境に配慮した食生活の在り方を考え、その課題解決に向け家族で話し合い実践させる。
 - ③ 環境食絵日記の発表及び投票
取組内容を発表し合い、相互評価させる。
- (g) 評価の観点（思考・判断・表現）
- ① 環境に配慮した食生活について課題を見つけ、課題解決に向けた実践を行い環境食絵日記にまとめることができている。
 - ② 実践内容を簡潔にまとめ発表し、相互評価することで他の取組を踏まえた上で、消費生

活について考えを深めている。

③ 実践を踏まえ、環境に配慮した食生活について理解を深めている。

(オ) ワークシートの評価

[別添資料5](#)のようにワークシートにおける評基準例を定めた。

3 生徒の変容

[別添資料6](#)のように、授業以前ではカーボンオフセットについて知っている生徒はほとんどいなかったが、家庭基礎の授業だけでなく商業科が行った文化祭でのカーボンオフセットタオルの販売や、球技大会における予想電力使用量からCO₂排出量を算出し、このCO₂に相当する国内クレジットを購入することでカーボンオフセットするといった取組と連動させたことで、カーボンオフセットの認知度が高まった。また、環境食絵日記を実施したことで環境問題に興味・関心のある生徒が増加した。記述式の感想については以下に示す。

- ・この授業のおかげで、エコなことについてもっと理解したり話し合ったりすることができたのでよかったです。
- ・こんなにエコなことについて考えるのは初めてだった。
- ・カーボンオフセットについてわかるようになった。
- ・家族と環境問題について考えるきっかけになってとてもよかった。

4 授業実践の成果と今後の課題

身近な環境問題の原因は、便利で快適な私たちの生活であることを理解し、その課題解決に向けた取組を家族とともに実践し、絵日記としてまとめることで、環境に対する意識の変化が見られた点ではよかった。また、商業科などの他教科と連携することで、さまざまな視点から環境やカーボンオフセットに触れる機会を設けることができた。「家庭基礎」の授業だけでの学びや、学年廊下で優秀な取組の掲示をするだけでなく、文化祭でのカーボンオフセットタオルの販売や球技大会自体のカーボンオフセットなどと連動させたことでより理解が深められたと考える。今後は、今回の取組を1年生の「家庭基礎」における環境教育の教材として年間学習指導計画に位置付け、継続して実施していきたい。

〈参考・引用資料〉

『高等学校学習指導要領解説家庭編』 文部科学省 平成22年1月

『高等学校学習指導要領解説総則編』 文部科学省 平成21年7月

『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 共通教科「家庭」）』

国立教育政策研究所 教育課程研究センター 平成24年7月

『カーボンオフセット活用ガイドブック 2012』 環境省 平成24年6月